

34

片岡商店の名残

長崎居留地
ドキュメント
ブライアン・バークガフニ

現在の石橋電停付近。片岡商店の跡地には歯科医院やスーパーが建っている。
(筆者撮影)



恩恵を受けた一人に、片岡与次右衛門という浦上の村人がいた。彼は、現在の

伊右衛門は、大浦4番地の海岸通りにたたずむ旧支那日本貿易会社の大きな西洋風事務所と、隣接する大浦5番地の建物を共に購入し、これらを米国政府に貸し出し、領事館および領事公邸として使用させた。ま

現在、孔子廟の上の斜面には、「東山手洋風住宅群」と呼ばれる7棟の木造洋風住宅が軒を並べ、国際貿易港として栄えた長崎の往時の面影と、片岡商店がにぎわっていた頃の繁栄を今に伝えている。

た、東山手地区のすぐ外側にある、かつて父親が牛や豚の飼育場として使ってい

（グラバー園名誉園長）
月1回掲載します

片岡伊右衛門が明治期から大正期にかけて外国人に貸していた建物は「東山手洋風住宅群」として保存されている（筆者撮影）